

コロナ禍だからこそ楽しみを
～活動やイベントで心のつながりを～

あすなろテラス
中新聖月

ASUNARO TERRA'CE

H30年9月OPEN



コロナ禍前の様子～地域の方とともに



ところが 新型コロナウイルスの感染拡大により



- ・外出の自粛や家族との面会の制限
- ・地域のイベントの相次ぐ中止
- ・外出が少なくなった
- ・家族や地域の人とのコミュニケーションが減り、認知機能の低下や意欲の低下がみられる



このような現状で何とか、利用者の楽しみ、以前のようなイベントや活動が出来ないか？



イベントボランティア委員会を中心にイベント・活動を工夫する



- 皆で楽しむ行事・活動へ
- オンラインで部署ごとに参加できる
- 活動の写真・動画→SNSで発信



具体的に取組んだこと

1 利用者の生活を発信していく

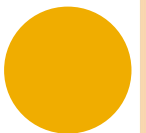
ユニットでの生活に応じたイベントや個々の活動を行い、写真や動画、記録に残す。情報の共有を図る。



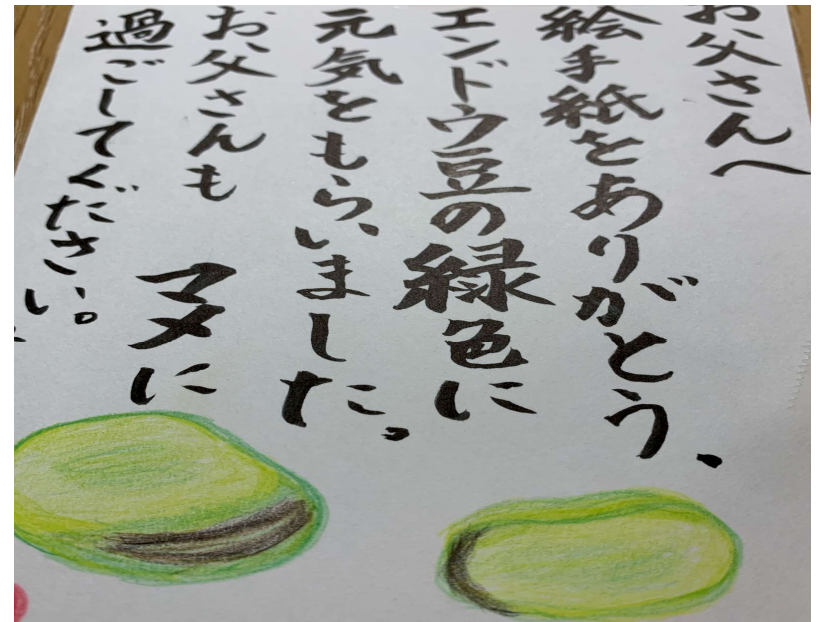
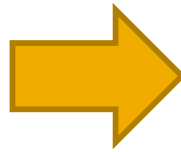
そして、地域の方へ(家族)日々の活動や様子をSNSなど発信し写真や動画を用いてタイムリーに伝えていく。

2 リモートの活用で各ユニットで参加～あすなろ祭り～

コロナ禍で密にならないイベントのあり方を考え、リモートを活用し屋内で楽しめるようにした。



1 利用者の生活を発信していく ～心の交流を～



絵手紙

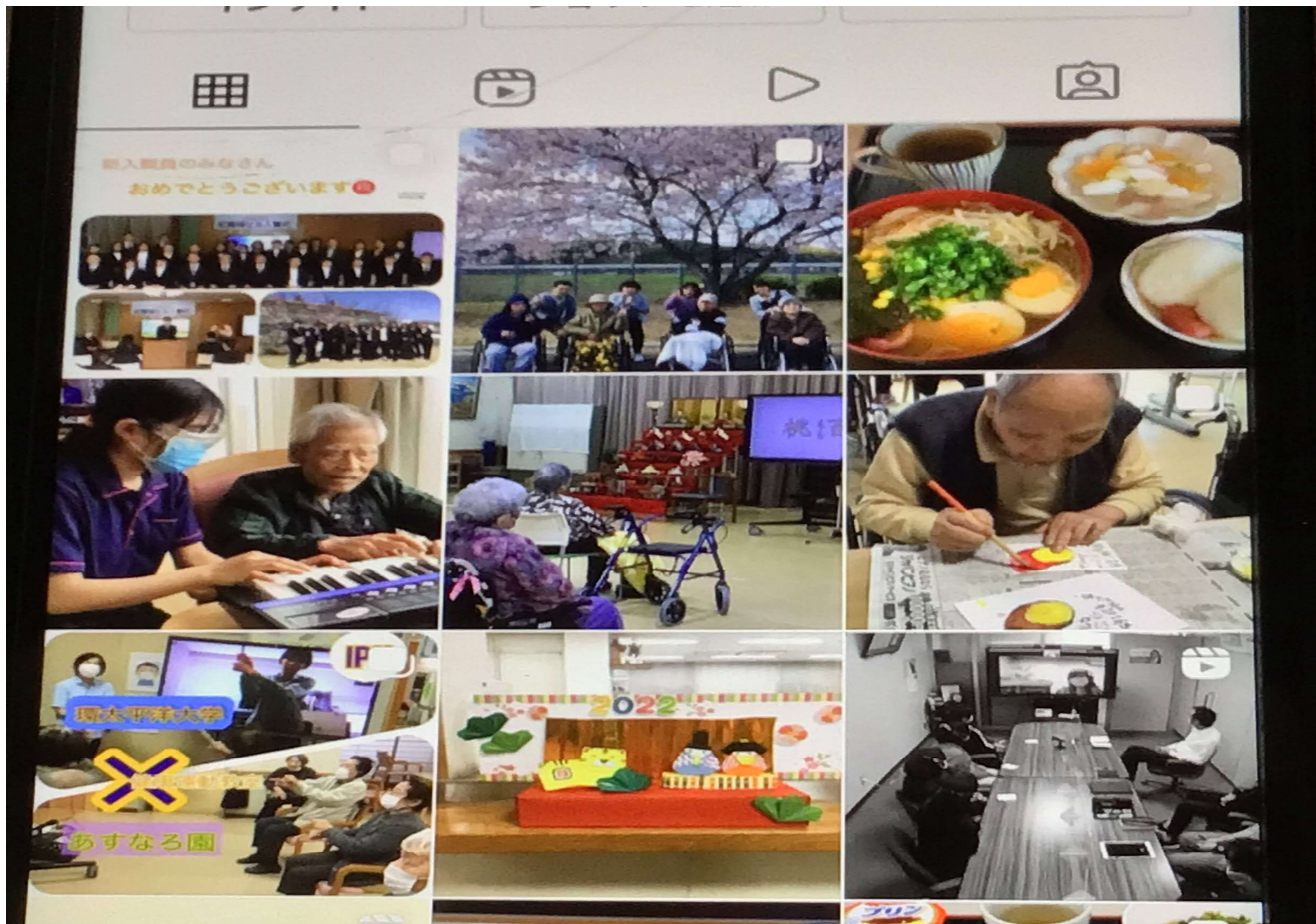
を家族に出しました



想いや気持ちを伝えていく

家族から、うれしい手紙が届きました

SNSでタイムリーに情報を発信していく



2 リモートの活用で各ユニットで参加 ～あすなろ祭り～



- ・屋内でも楽しめ、各ユニットの交流を促進
- ・利用者が楽しめる地域の踊りやゲームを取り入れる

2 リモートの活用で各ユニットで参加 ～あすなろ祭り～地域の方と動画でつながる

- ・地域のボランティアや保育所の子供と以前のような
かかわりを図る



オンライン、ムービーやビデオカメラでお互いにコミュニケーション
を図る



3 考察



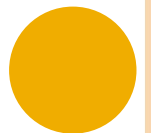
利用者の変化

- 少しずつ楽しい時間が持てることで、意欲の低下が見られた方が、活動に参加し笑顔が増えた
- 毎週ビデオ面会の日を心待ちにしている
- その時に作った作品などを家族に見てもらうことで、また頑張ろうと言う声がよく聞かれるようになった
- 以前のかかわりがあった方とビデオレターなどで交流できて嬉しいという声が聞かれた
- それでも「早く家族や大切な友人などに会いたい」という切実な声が多く聞かれた



地域や家族の声

- パーテーション越しの面会ができない中、SNSやビデオ通話でどのように過ごしているのかが分かった
- つながりを大切にしていきたい
- 不安が多いが、絵手紙等日頃の様子を伝えてくれ嬉しかったです
- コロナ禍の中、行事等工夫してくれて行っていることが分かった
- いろいろな形で参加できたらと思います



職員の変化

- 工夫次第で以前のようなつながりを持てる
- 地域の方々も交流を持ちたい事が分かった
- 家族とのつながりを大切にしたい
- 生活を一緒に楽しみたい
- 本音や思いに寄り添うことが大切
- なじみの関係が築けた
- お年寄りのことをもっと知りたい気持ちが強くなった



**ひとつのきっかけから沢山の発見
心のつながいを大切に
色々なことに挑戦することが大切！！**



ご清聴ありがとうございました

